

鳥栖警察署協議会開催結果の概要

令和6年4月8日

会 議	令和5年度 第3回 鳥栖警察署協議会
開催日時	令和6年2月21日（水） 15:00 ～ 17:00
開催場所	鳥栖警察署 会議室
出席者	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公安委員会 奥田委員長 (1人) ○ 協議会 木原会長、鶴田副会長、榊谷副会長、菅委員、石丸委員、藤田委員、内山委員、佐藤委員、碓委員、手島委員、古村委員、天田委員 (12人) ○ 警察署 笠原署長、東島警務課長、岩下生活安全課長、野口地域課長、野口刑事第一課長、諸隈刑事第二課長、緒方交通課長、笹川警備課長、警務係長2名 (10人) <p style="text-align: right;">計23人</p>
議 事 概 要	
<p>1 開会</p> <p>2 会長挨拶 本日は、本年度最後の協議会であり、第2回で諮問を受けた内容について答申をします。 答申内容について、新たな意見等あれば報告していただき、より良いものを答申できればと思っております。 よろしく申し上げます。</p> <p>3 署長挨拶 本日は、前回の協議会で諮問いたしました「ニセ電話詐欺被害防止浸透方策」の答申をよろしく申し上げます。 県内の治安情勢ですが、刑法犯の認知件数が一昨年、昨年と増加傾向にあり、当署管内でもSNSを使用した詐欺被害などが増えています。 交通事故の発生は県内では減少していますが、当署管内では増加しており、昨年は2名の方が亡くなられています。 厳しい治安情勢を踏まえ、事件事故にしっかり対応していきたいと考えています。 本日の協議会が今年度最後となりますので、気軽に御発言いただけたらと思います。 本日はよろしく申し上げます。</p> <p>4 警察署協議会代表者連絡会議結果の伝達 会長から 2月8日、警察本部で開催された代表者会議に出席しました。 10署の代表が協議会の内容、諮問、視察について発表されました。 10署のうち6署がニセ電話詐欺関係の諮問を行っており、どうにかして食い止めたいという思いを感じました。 また、他署の協議会の発表で印象に残ったものとして、 ・佐賀北署：交通事故発生時のドライブレコーダーの映像を協議会にて視聴 ・白石署：白石署管内である大町町にて、民生委員を通して独居老人を集め、詐欺被害防止の講話の実施 ・小城署：小城署員で構成される、小城多久安心隊による詐欺被害防</p>	

止の寸劇の実施
がありました。
と、伝達がなされた。

5 議事

(1) 生活安全課長の説明

○ ニセ電話詐欺の現状（令和5年中）

・佐賀県内の発生状況

被害件数 169件（前年比+95件）

被害額 約6億6,042万円（前年比+6億330万円）

・鳥栖警察署管内の発生状況

被害件数 40件（前年比+17件）

被害額 約6,856万円（前年比+約5,389万円）

・被害者の男女別、年齢別の状況

・交付形態別の状況

・架空請求詐欺の増加（インターネット利用時の警告、高額当選、アプリの未納）

○ 対策

・水際対策、すべてのコンビニに○×チェックシートを配布

・高校生、サガン鳥栖と連携し、動画や標語、ポスター等を作成

・巡回連絡、押収名簿に基づく注意喚起

(2) 答申書協議

委員

コンビニからの振込が多いので、店員にニセ電話詐欺防止
対策の指導やお願いを徹底する必要がある。

警察

管内にコンビニは64店舗あり、個別に全店舗回って店長に
お願いをしている。

声かけには勇気がいるので○×チェックシートを利用して
もらっている。

委員

振込金額が跳ね上がっている。年齢や性別に関係なく、スマ
ホを介してインターネットバンキングなどを利用し、どこ
でも振り込めるようになっていて、個人の防犯意識を高
める必要がある。

委員

出前授業や講話の実施状況はどうか。

警察

講話依頼を受けて、小学校や高齢者に対して、実施してい
る。

委員

学校の卒業前や就職の前など、ピンポイントに世代を絞っ
てニセ電話詐欺について注意を促し、頻繁にスマホを使う子
ども世代に対しては、保護者を含めた講話を行うと良いと思
う。

(3) 答申

「ニセ電話詐欺被害防止意識の浸透方策について」

会長から、

見て触れた情報を我が身のこととして受け止め、意識して
もらうためには、

○ 各世代に応じた分かりやすく、インパクトのある情
報を、数多くの人の耳目に触れる方法で発信

○ 本人への注意喚起はもとより、御家族や御近所への
情報発信による、家族の絆や住民間の繋がりを活用し
た多方面からのアプローチ

を行うことが重要である。

具体的には、交番だより等の広報用チラシに関して、

○ カラー刷り、文字サイズの拡大、内容の単純・明確
化、各戸配布

のほか、詐欺のキーワード等に関する犯人の言葉を記載した
ステッカーやチラシ等を、

○ 固定電話機の受話器やその近くへ貼付

○ 携帯電話機の本体やカバーへ貼付

することを実現できれば、防犯意識の浸透効果がさらに高ま
る。

若い世代や学生に対しては、

- LINE、X（旧Twitter）、Youtube等のSNSの活用
- 学校や教育委員会等と協力した出前授業
中高年に対しては、SNSのほか、
- 巡回連絡等による直接的な情報発信
- 市町の機関誌や情報誌、メディアの活用
高齢者に対しては、上記のものに加えて
- 福祉行政や老人クラブ等と連携した出張講話
などを行うことが効果的である。

旨の答申がなされた。

(4) 質疑応答

- 委員 信号機の点灯時間の変更や右折の矢印付き信号機の設置などの要望は、どこに出したらよいのか。
- 警察 地区の総意として要望を区長から市へ、さらに市の交対協を通して警察署へという流れになる。
- 委員 早朝などにカーブミラーが曇っていることがあるが、このことを相談するとすれば、どこに言ったらよいか。
- 警察 カーブミラーは、道路管理者の管理のため、そちらへの相談となる。
- 委員 高速道路にスマートインターが出来ることで新たに道路が開通し、交通量が増えると思う。交通事故防止の対策はどのようなものを行うのか。
- 警察 立番や交通取締りの実施を予定している。
- 委員 田代小学校前の道路、田代昌町から田代大官町までの道路は狭くて交通量が多いので、4トン規制などにより車両の通行規制はできないか。
- 警察 34号線のアウトレットモールへ右折する信号について、矢印表示時間を長くすることはできないか。
- 委員 また、右折のレーンを長くすることは出来ないか。
- 警察 要望があれば、個別に検討を行うことになる。
- 委員 本通町のスクランブル交差点の横断歩道は、学生などの自転車が多いときには、高齢の歩行者が通行を譲っている状況である。
- 警察 指導、取締り等を行う。
- 警察 講話をするために高齢者を集めたい場合、どうしたらよいか。
- 委員 社会福祉協議会に依頼する。
- 警察 民生委員は、高齢者が集まるサロンなどを開いているので、民生委員に教養を実施するのもよい。

6 公安委員長講評

地元の方が体感されている現状を積極的に御発言いただき、鳥栖警察署協議会を心強く、また、頼もしく思いました。

これからも警察官の業務や現状について、周りの方たちへ伝えていただきたいと思います。

7 その他

交通安全講話の実施

8 閉会